



翼よ 飛べ！
あの雲の彼方へ
夢とロマンと冒険を求めて…

■ 栄光と死が鮮烈にきらめく危険飛行にすべてを賭けた
華麗な男のスカイ・アドベンチャー！

ロバート・レッドフォード

ポー・スペンソン

スーザン・サランドン

マーゴット・キッダー

ポー・ブルンディン

華麗なる ピコ斗野郎

〈カラー作品〉

The Great
WALDO PEPPER

製作・監督 明日に向って撃て！の ジョージ・ロイ・ヒル

原案 ジョージ・ロイ・ヒル（監督） 脚本 ウィリアム・ゴールドマン 撮影 ロバート・サーティーズ 音楽 ヘンリー・マンシーニ（サントラ盤 MCA・コロムビア）
中場 山崎 監督 フランク・トルマン

ユニヴァーサル映画 配給 CIC 配給



華麗なる ヒコーキ野郎

カラー作品

The Great
WALDO PEPPER

ユニヴァーサル映画 配給 CIC



▲「JN14ジェニー」

■「スティング」に続いて贈る痛快アクション大作ノ

「スティング」で大ホームランを飛ばしたロバート・レッドフォードとジョージ・ロイ・ヒル監督が再び贈る痛快アクション大作である。

昔なつかしい複葉機や三葉機で大空狭しと大スタントアクションをみせてくれるこの映画は、ジョージ・ロイ・ヒルの永年の企画だっただけに、すべて彼好みのスタッフとキャストが選ばれ、ガッチリ息の合ったチームワークぶりをみせてくれる。

主役のウォルド・ベッパを「明日に向けて撃て!」、「スティング」でロイ・ヒルから絶大なる信頼を得ているロバート・レッドフォードが演じ、首に巻いた白いマフラーを風になびかせてスタント・アクションに挑戦している他、スウェーデン俳優ボー・スベンソンとボー・ブルンディン。「フロント・ページ」のスーザン・サラドン。「デリンジャー」のジェフリー・ルイスなどが共演している。

スタッフのほうもロイ・ヒル一家という顔ぶれで、撮影は「ベン・ハー」以来すでに三個のオスカーをものにしているロバート・サーティーズ。音楽はおなじみのヘンリー・マンシーニが軽快なマーチを作曲している。

更に美術はヘンリー・バムステッド。衣装はエディス・ヘッド。編集はウィリアム・レイノルズといずれも前作「スティング」でオスカーに輝いた連中が勢揃いしている。

■圧倒するトリックなしの空中撮影!

飛行機を題材にした映画は、戦争映画を中心に今まで数多く作られてきた。だが肝心の空のアクション場面は特撮やスクリーン・プロセスを用いた場合が殆んどである。この映画では、トリック撮影やスタントマンによる吹きかえは一切行なわれていない。主演のレ

ッドフォードは全てのシーンを自分でやると主張し、単発機で宙返りをする場面や飛んでいる飛行機の翼の上を彼が歩く場面は、本当に2千フィート、3千フィート上空でこの離れ業をみせている。

■大空への讃歌

この映画には古き良き時代の大空の主役たち——JN-4 ジェニーやフォッカー三葉機など——が数多く登場する。この昔懐かしいヒコーキを自由自在にスクリーンに再現してくれるのは、この映画に企画の段階から参加している空中スタントの神様と言われるフランク・トールマンである。近作でも「キャッチ22」や「おかしな、おかしな、おかしな世界」でその妙技を披露している。

■スタッフ■

製作・監督・原案

……ジョージ・ロイ・ヒル

脚色……ウィリアム・ゴールドマン

撮影……ロバート・サーティーズ

音楽……ヘンリー・マンシーニ

編集……ウィリアム・レイノルズ

衣装……エディス・ヘッド

空中場面監修

……フランク・トールマン

■キャスト■

ウォルド・ベッパ

……ロバート・レッドフォード

オルソン……ボー・スベンソン

ケスラー……ボー・ブルンディン

メアリー……スーザン・サラドン

モード……マーゴット・キッター

ニュート……ジェフリー・ルイス

(上映時間 1時間48分)

■ヒコーキ野郎—ロメモ

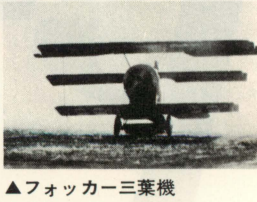
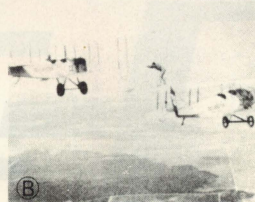
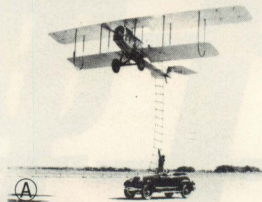
●バーン・ストーミング(Barnstorming)

1920年代アメリカにあった職業。単発のプロペラ機で田舎町を飛びまわり、金をとって農家の人びとを飛行機に乗せたり、空中で曲乗りをみせる商売である。

●アクロバット

① Car to plane transfer ……地上を走る車から、ダイブしてくる飛行機に乗り移る妙技。

② Plane to plane transfer ……飛行中の機体から機体への乗り移る妙技。



▲フォッカー三葉機

3月13日 日曜ロードショー

丸の内ピカデリー (201) 2881

新宿ピカデリー (352) 1771